

貿易プラットフォーム利活用推進に向けた検討会

最近の取り組み

Shippio

新サービス : Shippio Works

24年9月に国際物流事業者向けのプラットフォームサービス「Shippio Works」を提供開始

荷主向け

物流サービス

デジタル フォワーディング



貨物の集荷、海上輸送、陸送等の
手配サービスをクラウドサービス
とセットで提供

クラウドサービス

Any Cargo



本船動静トラッキング等を備えた
貿易管理クラウドサービスを
SaaSモデルで提供

国際物流事業者向け

クラウドサービス

Shippio Works

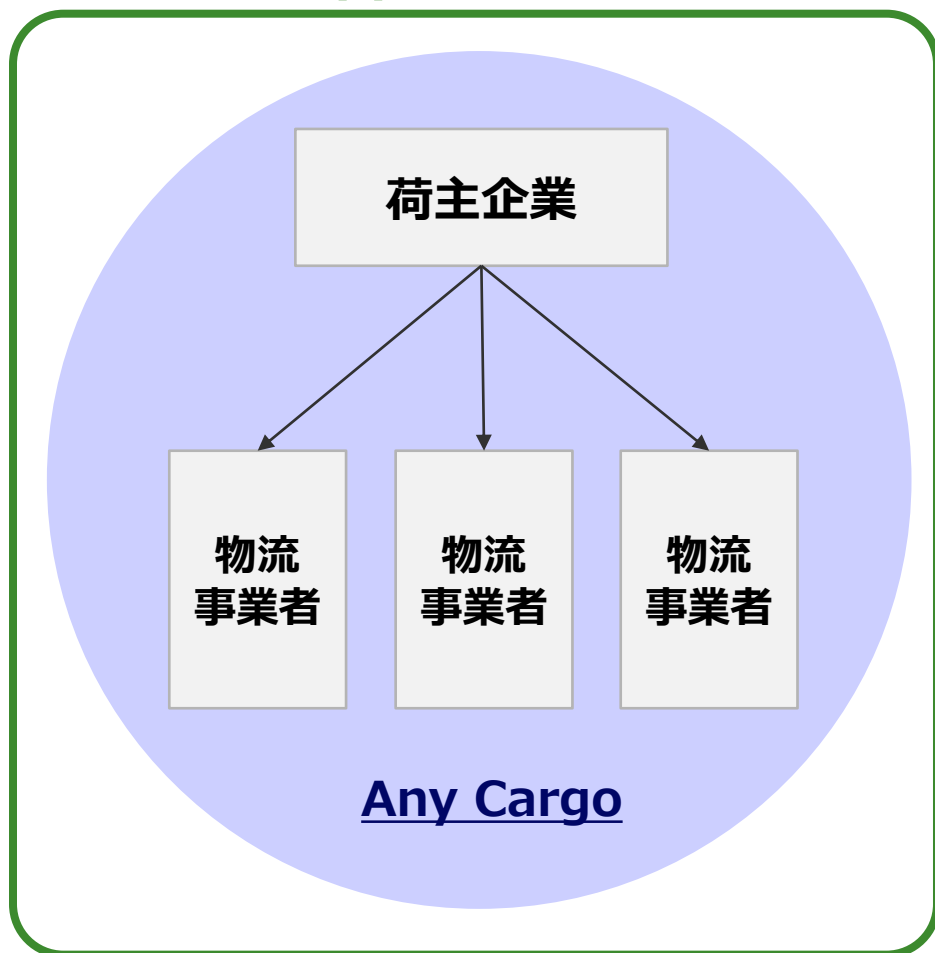


国際輸送のあらゆる情報、
コミュニケーションを集約する
プラットフォームサービス

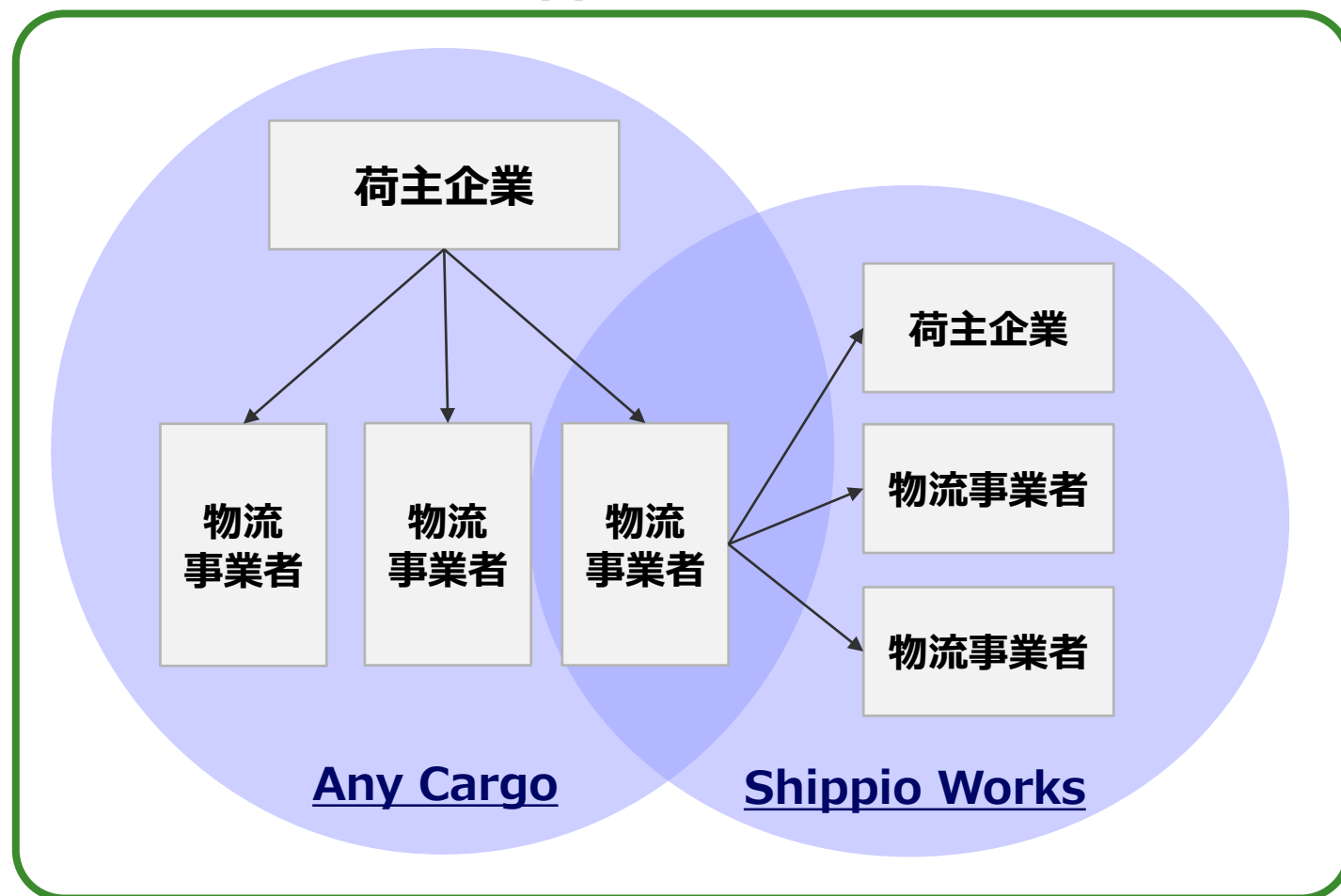
プラットフォームの拡大によるネットワーク効果の加速

これまでは荷主企業を起点に物流事業者を招待するのみだったが、
物流事業者を起点に荷主企業・物流事業者の招待も可能に

Shippio Platform



Shippio Platform



Shippio Works リリース4ヶ月で100アカウントを突破

物流事業者から荷主を招待可能になることで、ネットワーク効果が強化。
より多くの企業が利用するプラットフォームへ急成長中



 **TOYO TRANS INC.**
株式会社東洋トランス

 **SBS グループ**
For Your Dreams.

株式会社ヤマタネ

SANKYU

 **福山通運グローバル株式会社**
FUKUYAMA TRANSPORTING GLOBAL CO.,LTD.

プレスリリース 2025.01.20

国際物流事業者向けプラットフォーム「Shippio Works」、アカウント数100件を突破 ～サービス開始からわずか4ヶ月で利用者が急増！1人20時間/月の業務時間削減も～

「理想の物流体験を社会に実装する」をミッションに国際物流DXを推進している株式会社Shippio（本社：東京都港区、代表取締役：佐藤 孝徳、以下Shippio）は、2024年9月から提供している新サービス「Shippio Works（シッピーオ ワークス）」のアカウント数（※）が100件を突破したことをお知らせします。「Shippio Works」の利用拡大に伴い、国際物流事業者社内及び荷主企業等のパートナー企業がプラットフォーム上でつながり、コミュニケーション円滑化が進んでいます。（※契約企業及び契約企業から招待を受け「Shippio Works」を利用しているパートナー企業のアカウント数）

大手物流事業者をはじめ、100超の関係企業がコミュニケーションするプラットフォームに

2024年9月より提供を開始している「Shippio Works」は、国際物流事業者と荷主企業の間でやり取りされる情報の流れを一元化し、コミュニケーションを効率化するプラットフォームです。

国際物流業務においては、膨大かつ複雑な書類や進捗確認等が電話・メールなどでやり取りされる、壮大な「伝言ゲーム」が行われる状況が続いています。

「Shippio Works」は必要な情報をクラウド上に集約し、簡素に共有・連絡できる機能を搭載しています。また契約企業のみならず、招待された社外の関係者（荷主企業、外部パートナー）も同じ情報・状況をシームレスに把握できる環境を提供しています。

「Shippio Works」の提供開始から4ヶ月が経ち、SBSリコーロジスティクス、山九、ヤマタネをはじめ国際物流事業者での利用が急速に拡大しています。これに伴い、利用企業から招待を受けたパートナー企業（荷主企業や外部パートナー企業）も含め、この度「Shippio Works」のアカウント数が100件を突破いたしました。

これまでの電話、メールを駆使した属人型のコミュニケーションから脱却し、「Shippio Works」上でのコミュニケーションに切り替えたことで、1人あたり20時間/月の業務時間削減に繋がったケースも出てきています。

連携事例：Forwarder-PRO（関西総合システム）

「Forwarder-PRO」と連携して、国際物流事業者のシステムを一気通貫でデジタル化
今後も連携システムを拡充を予定



- 「Forwarder-PRO」システム内にShippo Worksのデータ連携フォーマットを搭載することで、「Forwarder-PRO」に登録された受発注案件（船積み案件）をワンクリックでShippo Worksにアップロードできるように
- これにより、国際物流事業者の基幹業務は「Forwarder-PRO」、荷主向けの業務コミュニケーションの情報提供は「Shippo Works」と一元管理し、よりスムーズな国際物流サービスのご提供が可能に
- 今回のデータ連携フォーマット搭載を皮切りに、両社は今後も国際物流に携わる企業がより利便性高く、業務を効率化できるよう、将来的にはAPI連携も視野に入れ連携を強化

多岐にわたる輸送ルートや膨大な書類業務に対し、補助金も活用し、 動静管理とコミュニケーションを可視化・効率化することで、大幅な業務改善を実現



導入の背景・経緯

- ・ アイリスグループでは、年間約1,000アイテムの新商品がリリースされ、輸送ルートや仕入れ先が増え続けた結果、**書類処理や本船動静確認が極めて煩雑化していた**
- ・ 自社で**基幹システム機能を追加しようとしたが専門知識が不足し、開発は難航**

導入の効果

- ・ **1日2回の動静自動更新で正確な情報が得られ、複雑なトランシップにも対応が容易になった**
- ・ 「Partner Connect」を通じて**海貨業者、外部倉庫、他部署とクラウド上で連携**できるようになり、出港前から通関準備などを進められるようになった
- ・ Excelでの作業も改善され、必要なデータの抽出や加工が効率化されたほか、**貨物遅延やダメージの情報を蓄積・分析し、輸送品質向上に役立てられるようになった**

今後の展望

- ・ 過去のデータを基に発注タイミングや季節要因の遅延リスクを把握し、**船足の長い航路や地方港の活用を検討するなどリードタイムとコストの最適化を図る**
- ・ 既存システムとクラウドサービスを併用し、不足部分を補完する柔軟なアプローチで徐々に導入範囲を拡大していく

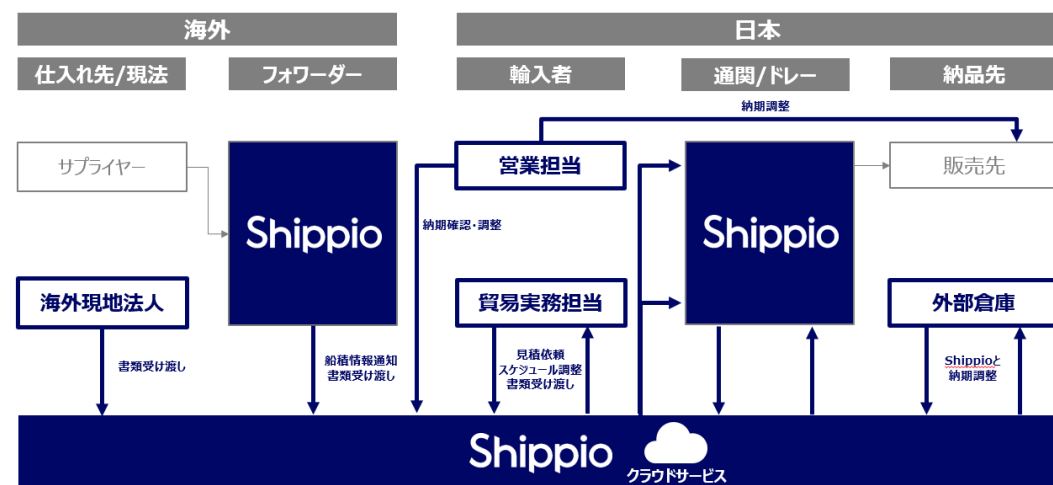
事例：株式会社明治フードマテリア（明治グループ商社）

人手不足やコロナ禍で働き方が大きく変わる中、Shippio導入によって
従来の煩雑な連絡・調整業務を集約・削減し、コア業務に注力できる環境を構築

健康にアイデアを

meiji

Shippio導入時のフロー



導入の背景・経緯

- ・「高齢化」「人手不足」により、**知識継承や業務量の負担が深刻化**
- ・**コンテナドレー確保や本船動静確認に朝から晩まで追われていた**
- ・コロナ禍で**在宅勤務やパーパレス化が進み、従来の働き方を見直す必要性が高まる**

導入の効果

- ・本船動静を含む**調整負荷が減り、コンテナドレー確保がスムーズになったことで、コア業務（分析・企画）に割ける時間が増えた**
- ・メールやFAX、電話など複数の媒体で発生していた**連絡業務がShippioのクラウド管理に集約**され、作業時間が大幅に削減された
- ・Shippio導入後、**月間で担当者一人当たり16～33時間の業務削減**を達成し、処理できる船積み案件数が増加

今後の展望

- ・2024年5月から「Any Cargo」も導入し、**アウトソーシングではなくユーザー自身がコントロールタワーとして業務全体を指揮**する体制を強化
- ・Excelとの二重管理を解消し、Shippioだけで完結できる運用を目指す

事例：福山通運グローバル株式会社

自動トラッキングと書類管理・チャット機能により、案件管理の手間を大幅に削減し、
コミュニケーションの効率化とDX推進を同時に実現



導入の背景・経緯

- ・コンテナ需給の逼迫・運賃高騰・遅延が続き、**荷主の要望で本船スケジュールを正確かつ迅速に把握する必要が高まった**
- ・従来は本船動静のチェックやメール・FAXでの書類管理に1人あたり月10～20時間も費やし、情報が担当者間で分散していた

導入の効果

- ・本船スケジュールの自動トラッキングにより、1日30分～1時間の確認作業が不要となり、**担当者ごとの業務時間が月10～20時間削減**
- ・テンプレートの一括アップロード機能やチャット機能の活用で、**情報共有の煩雑さが解消し、社内コミュニケーションの効率が大幅に向上**
- ・**若手社員からデジタルネイティブらしい改善提案が増え**、ベテランとの連携を通じて業務の標準化と生産性向上が加速

今後の展望

- ・東京支店での運用ノウハウを確立し、**他拠点や親会社・取引先も巻き込んだ全国展開を目指す**
- ・DX化された国際物流プロセスを軸に、新たなビジネスチャンスの創出やサービス品質のさらなる向上を図る

新機能（予定）：貿易書類のAI-OCR

貿易書類をShippioにアップロードするだけで、自動で構造化データ化して、他システム連携を容易に

PO# A22003456

SOFA, TABLE, 40FT,
JPNGO (Nagoya, Aichi) ← TWKEL (Keelung (Chilung))

トラッキング準備中です。出港が近づいたらトラッキングを開始します。

マイルストーン

ファイル

商品

詳細

貿易書類

カテゴリ

更新者

アップロード日時

貿易書類のアップロード

貿易書類はありますか？

その他ファイル

カテゴリ

ファイル

更新者

アップロード日時

その他ファイルはありません

ファイルをドラッグ&ドロップ
もしくは ファイルを選択

共有ファイル (浜松町運輸 東京支店 - 浜松町運輸 東京支店)

カテゴリ

ファイル

更新者

アップロード日時

BLファイル取り込み

ファイル選択 DRAFT MBL OC2345.PDF

1

2

Oceanic Transports

Shippio/Exporter

Oceanic Transports CO., LTD.
3 FLOOR SHIGE BUILDING EAST,
SHAKEE WEST AVE, LEKW DISTRICT, SHEREWKOW,
CHINA.

Document No.
12385R23323

Export Reference

Forwarding Agent Reference

Consignee (complete name and address)

Shippio, Inc
15F Hamamatsucho-building, 1-1-1 SHIBAURA,
MINATO-KU, JAPAN

Notify Party (complete name and address)

SAME AS CONSIGNEE

Notify Party

Pre-carriage by

Place of Receipt/Date

Shen Wen Sheng, Inc
NORTH BLUE, 124-E230

Part of Loading
SHEKOU, CHINA

Place of Discharge

Place of Delivery

TOKYO, JAPAN

Container No. / Seal No.

Quantity and Package

Description of Goods

Measurement and Gross Weight

CONTE12345674345
ERWKE123123424

12N/M

TV BOARD

68.5 CBM
23.5 KGS

Freight Charges

BL No.

Number of Original

Prepared at

Collect at

EKRWOU324342

3

SHEKOU, CHINA

OCR 更新する値

管理番号

4354,643543,123123

貨物名

テレビボード, キャビネット, 靴箱

Master BL 番号

EKRWOU324342

Shipper

Oceanic Transports CO., LTD.

Consignee

SHIPPIO, INC

ブッキング番号

12385R23323

本船名

NORTH BLUE

Voyage No.

124-E230

Place of Receipt

SHEKOU, CHINA

POL

SHEKOU, CHINA

POD

TOKYO, JAPAN

Place of Delivery

TOKYO, JAPAN

コンテナ番号

CONTE12345674345

シール番号

ERWKE123123424

数量

12

内包装

N/M

サイズ (m³)

68.5

重量 (kg)

23.5t

※2025年 春頃実装予定。初期リリースはB/Lのみの対応、順次 A/N、輸入許可書の対応を検討

Shippio • 11

Copyright © 2025 Shippio, Inc. All Rights Reserved.

本文書（添付資料を含む）は、株式会社Shippioが著作権その他の権利を有する営業秘密（含サプライヤー等第三者が権利を有するもの）です。当社の許可なく複製し利用すること、また漏洩することは「著作権法」「不正競争防止法」によって禁じられております。本資料内の社名・製品名は各社の登録商標です。